

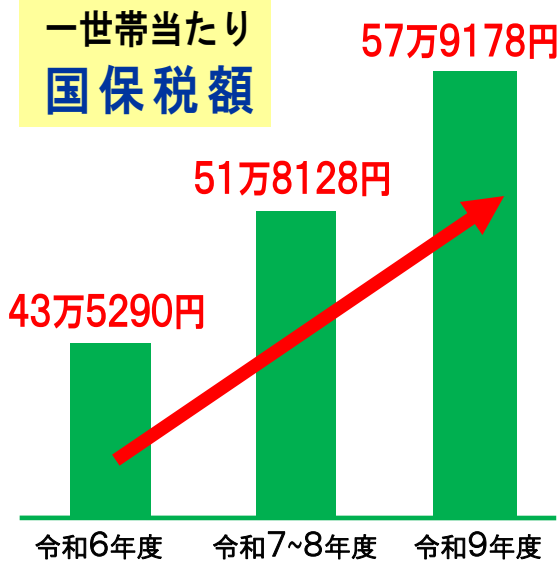
国保税の全県統一化で

大幅な
値上げ

令和9年度には

令和6年度 43万5290円 → 57万9178円

一世帯当たり
国保税額



令和9年度に国民健康保険税が全県統一化されようとしています。野洲市が示したシュミレーションでは、「空前」の大幅な値上げになることが明らかになりました。



もう「払いたくても払えない」。値上げやめて！

野洲市は去る5日開催の国民健康保険運営協議会に、令和9年度に向け「今後の保険料(税)の見込み」を示しました。この「見込み」が示す税率で試算(設定は左記表の下段)すると、現在年間で一世帯43万5290円が、令和9年度(国保税統一年度)には57万9178円となり、実に14万4888円もの大幅な値上げとなります。市が示した「見込み」による試算ですが、こんなことになれば、とても「払いたくても払えない」国保税になります。

今回、滋賀県が進める「国保税全県統一化」に対して県下の首長からも、「高齢者低所得者が多い中、今後、保険税を引き上げることは困難」「一層の公費拡充、低所得者軽減のあり方、検討を国に強く要望を」などの意見や懸念が出されています。

まさに市町の努力を超える制度矛盾です。国が公的資金を投入すること。滋賀県は、統一化方針は撤回し、一般会計繰り入れや基金活用で国保税値上げをやめるべきです。

※国保税額は野洲市国保運営委員会の資料(税率)を基に税額を試算。

※所得310万円、夫婦(40歳代)、子ども2人(小学生と中学生)の4人家族。医療分と後期高齢者医療分の合計で介護分は除く。

市民病院
特別委員会

33億8400万円もの機械設備工事を契約変更で？

市議会・市民病院整備特別委員会が15日開催されました。昨年11月の臨時議会で新病院建設の「一括発注」で、82億1900万円が可決されましたが、今回、機械設備工事の33億8445万円を「契約変更」で追加・発注します。

しかし33億円もの工事費にもかかわらず入札もなく、事実上の「随意契約」です。しかも、15日の市議会・特別委

員会で、わずか数時間の審議で、翌日の16日に市と業者で変更契約をします。まさに異例な進め方です。

昨年11月の入札が機械設備を除いたもので、極めて異例であり得ないものでした。それに引き続き、今回の「契約変更(追加・増額)」が適切なものか、どうか、極めて疑問です。

■当初契約

↓ 82億1900万円
機械設備除く

■契約変更(追加・増額)

↓ 33億8445万円
機械設備(一般機械設備)

■分離発注(入札)

病院特殊機械設備

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2024年2月11日 No.522

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

小菅康子 比江668-3 (電話・FAX) 589-4971
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党野洲市委員会の見解をお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索